

税について学びました

1月25日（木）、菊水中央小学校で6年生を対象にした租税教室が行われました。この日は町の担当者が先生となり、税金の種類や、税金がどのように暮らしに役立っているかなどを説明。児童はどんな場面で税金が使われているかを予想したり、税金のない世界を描いたDVDを見たりして、税金について学習しました。

学習の最後に感想の発表があり、「災害が発生した時などに税が役に立っていることが分かった。税についてもっと学習します。」と関心を持っていました。



税の活用方法を予想します

音楽にふれる ～スクールコンサート～

1月30日（火）、三加和小学校で楽奏団「ゆめのねいろ」によるスクールコンサートが行われました。

これは、感受性を高め豊かな感性を育てるためにPTAの協力により行われ、この日はクラシックの名曲などの演奏があり、児童や来場者は手拍子をしながら楽しんでいました。

最後にはサプライズで三加和小の校歌が演奏され、大きな声で合唱していました。

児童は普段あまり聴かない楽器の生演奏に目を輝かせながら聞き入っていました。



さまざまな楽器で演奏されました

第11回和水町親善駅伝大会

2月4日（日）、三加和公民館から竜門地区を折り返す全長16.8km、13区間のコースをタスキでつなぐ「第11回和水町親善駅伝大会」が開催されました。

今年の大会は、緑・菊水中央地区から各2チーム、春富・神尾・菊水東・菊水西・菊水南地区から各1チームの合計9チームで競い合いました。

レースは序盤、1区・2区で区間賞の走りを見せた春富チームがリードしましたが、3区を走った菊水中央Aチームの柴尾香澄選手が区間新記録となる快走で一気に追い上げ、4区で首位に立った後はゴールまで独走状態となり、菊水中央Aチームが大会5連覇を成し遂げました。

なお、2位には序盤から上位を譲らなかった春富チームが、3位には終盤じりじりと追い上げを見せた菊水東チームが入りました。



スタート前に緊張する1区のランナー

第42回玉名駅伝大会

1月14日（日）、和水町体育館をスタート・ゴールとして「第42回玉名駅伝大会」が開催されました。

玉名郡市の各中学校区でチームを組み、41.5km、10区間で競いました。

当日は寒空の下、中学生から一般ランナーまでタスキをつなぎながら一生懸命走りました。

激走の結果、和水町菊水チームが1位の南関チームとわずか13秒差の2位という結果で、惜しくも優勝とはなりませんでした。来年度につながる堂々たる走りを見せてくれました。また、和水町三加和チームも6位入賞を果たしました。



和水町選手団結団式の様子

大河ドラマ「いだてん」放送 1年前カウントダウン講演会

1月28日（日）、三加和公民館で金栗四三氏「消えたオリンピック走者」の著書で知られるノンフィクション作家・佐山和夫氏の講演会が行われました。これは、大河ドラマ「いだてん」放送を1年後に控え、そのカウントダウン事業として、大河ドラマ「いだてん」和水町推進協議会が開催しました。

講演会には町内外から100名余りが参加。佐山氏は、金栗氏は日本人初のオリンピックで気力を振り絞り走ったが気を失って倒れてしまった。現地では行方不明と扱われ「消えた日本人ランナー」として、優勝した選手よりも今もなお有名である。また、「日本マラソンの父」として陸上界に多大な貢献をしていることなどを紹介されました。



貴重な写真を交えて講演されました

金栗四三氏をPR

玉名市・和水町・南関町大河ドラマ「いだてん～東京オリンピック囃し～」地域振興協議会では、1月27日（土）、28日（日）の2日間、横浜市で開催されたくまモンファン感謝祭2018に参加し、日本人初のオリンピック選手で、2019年大河ドラマの主人公である本町出身の金栗四三氏のPRを行いました。

くまモン出演などで多くの来場者が訪れるなか、金栗氏のパネル展示をはじめ、金栗四三氏のPRグッズを配りました。

2019年大河ドラマは、1912年のストックホルム五輪から1964年東京五輪開催までの、激動の52年が描かれます。



金栗氏に興味津々の来場者